

# 成田市議会だより No.76

平成26年 9月定例会

2014.11.1 発行



## 表紙写真募集

成田市議会だより(2月1日号)に掲載する写真を募集します。

「あなたが思う  
成田らしい写真」

締切は1月14日(水)

詳細は6ページをご覧ください

### 「麻賀多神社の大杉」

成田市台方にある麻賀多神社の境内左奥にそびえ立つ樹齢千三百有余年を誇る東日本一の大杉。今までもこれからも成田を見守る存在です。

撮影者：渡信 貴之 様

### 主 な 内 容

常任委員会 .....	3	一般質問 .....	10
議案と審議結果一覧 .....	5	意見交換会のご案内 .....	16
決算特別委員会を設置 .....	7	コーヒータム .....	16
特別委員会 .....	7		

9月  
定例会の  
あらまし

# 24議案を可決・同意

## さくらの山の設置及び管理に関する 条例の一部改正や 京成成田駅東口バリアフリー化工事 請負契約の締結など

平成26年9月定例会は、8月29日に招集され9月18日まで21日間の会期で開かれました。定例会の初日には、31議案が上程されました。

9月2日には、決算特別委員会が新たに設置され、また、発議案1件を可決しました。

一般質問は、9月2日から3日間、18人の議員が登壇して行われ、4日には議案3件を同意しました。5日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案19件と発議案1件を原案どおり可決し、発議案1件を否決しました。また、請願1件を採択しました。なお、平成25年度決算関係9議案は継続審査となり閉会しました。

### 9月定例会の日程

月 日	内 容
8月29日(金)	本会議（開会、会期の決定、全議案一括上程）
9月 2日(火)	本会議（一般質問、議案審議）、決算特別委員会
3日(水)	本会議（一般質問）
4日(木)	本会議（一般質問、議案質疑、議案審議、委員会付託）、 決算特別委員会
5日(金)	健康づくり特別委員会
8日(月)	経済環境常任委員会
9日(火)	交通対策特別委員会、空港対策特別委員会
10日(水)	教育民生常任委員会
11日(木)	議会改革特別委員会、建設水道常任委員会
12日(金)	総務常任委員会
16日(火)	議会改革特別委員会
18日(木)	本会議（会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会）



# 常任委員会

本会議で委員会に付託された主な議案と  
審査内容の概要を紹介します。

※議案件名など一部省略しています。

## 総務 常任委員会

議案2件をいずれも可決しました。  
所管事務について4件の報告を受けました。



### ▼平成26年度成田市一般会計補正予算(第4号)

**[内 容]** 財政調整基金<sup>注1</sup>への積み立てや、崖地整備費補助事業、八生および公津小学校への児童ホームの整備、加工用米等の作付面積の大幅増加への対応や台風で崩壊したいずみ聖地公園駐車場法面の本復旧工事の実施などを行うにあたり、歳入歳出それぞれ11億4,375万1千円の増額補正を行うもの。

**[主な質疑]** **問** 国家戦略特区<sup>注2</sup>推進支援業務委託の内容は。

**答** 区域計画案の策定や規制緩和内容の精査、事業の実施主体や事業形態の検討など、特区事業を推進する上での支援全般である。

**問** 水田農業構造改革対策事業の加工用米は、想定以上の申請があるとのことだが、面積としてはどの程度か。

**答** 約370ヘクタールで、平成25年と比較すると120ヘクタール程増えている。

<sup>注1</sup> 年度間の財源の不均衡をならすための積立金で、地方財政法で設置が義務付けられている基金。

<sup>注2</sup> 政府が、地域を区切って大胆に規制緩和や税制優遇を進め、経済の底上げを狙う制度。

## 教育民生 常任委員会

議案12件をいずれも可決しました。  
所管事務について10件の報告を受けました。

### ▼次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定

**[内 容]** 次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律が公布され、母子及び寡婦福祉法の一部が改正されることに伴い、成田市行政組織条例について所要の改正を行うとともに、母子自立支援員の名称を、母子・父子自立支援員に改める改正を行うもの。

**[主な質疑]** **問** 母子家庭で行われていた支援から、父子家庭が加わることによって、対象がどれくらい変わるのか。

**答** 父子家庭については、平成25年度実績で母子家庭の1,211世帯に対して、110世帯である。よって、新たに父子家庭が支援対象となる事業においては、110世帯が増えることになる。

### ▼成田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例制定

### ▼成田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

### ▼成田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

**[内 容]** 平成27年4月から実施が予定されている子ども・子育て支援新制度に関するもので、子ども・子育て支援法および児童福祉法において、市町村の条例で定めることとされた特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等について、新たに条例を制定するもの。

**[主な質疑]** **問** 支給の認定申請をし、認定を受けた後、保育所や幼稚園などへの入所の申請をするとすると、従前の申請より保護者にとっては負担が重くなるが、今後の手続きはどうなっているのか。

**答** 支給認定申請については、入所の申し込みと同時に手続きを行えるよう検討している。



## 経済環境 常任委員会

議案4件を可決し、請願1件を採択しました。  
所管事務について3件の報告を受けました。



▲さくらの山観光物産館イメージ図

### ▼成田市さくらの山の設置及び管理に関する条例の一部改正

[内 容] 成田市の観光情報を発信し、地域経済の発展に寄与する施設として、成田市さくらの山に整備を進めている施設の名称を「さくらの山観光物産館」とし、適正な管理運営を行うため、所要の改正を行うとともに、指定管理者注3制度を導入するもの。

[主な質疑] **問** 指定管理者選定の要件は、どのような検討をしているのか。

**答** この施設が地元地域の経済活性化と、地域振興に寄与できるような団体に管理をお願いしたいと考えている。

注3 地方公共団体から期間を定めて指定を受け、公の施設の管理を任せられる団体。

### ▼労働者保護ルール改正に関する請願書

[主な意見] ● 安倍政権の成長戦略の中で、労働者保護ルールが後退するというふう言われている。ルールを変える前に、労働者の声をしっかりと聞くべきだと思っているため、この請願には賛成をしたい。

## 建設水道 常任委員会

議案1件を可決しました。  
所管事務について3件の報告を受けました。

### ▼京成成田駅東口バリアフリー化工事請負契約の締結

[内 容] 京成成田駅構内から京成成田駅東口駅前広場に向かう自由通路に、下りエスカレーターおよび車椅子専用の階段昇降機と東口ペDESTリアンデッキ注4にエレベーターを設置する工事請負契約を締結するもの。

[主な質疑] **問** 大規模で複雑な工事になると思われるが、工期中の歩行者の安全対策は。

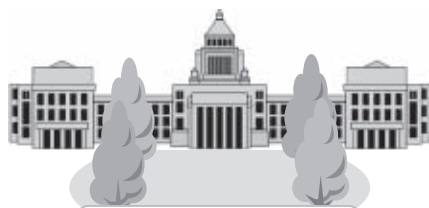
**答** エスカレーターを設ける階段部分を解体するので通路が狭くなり、既存のエスカレーターについても、動力部の工事等で停止する可能性もあるが、工事工程等を十分に調整し、通行者に迷惑をかけないようにしたいと考えている。

注4 高架等によって車道から立体的に分離された歩行者専用の通路。

## 国に意見書を提出

9月定例会では、議員から提出された議案（発議案）が可決され、国および関係行政機関に意見書が提出されました。  
提出された意見書は下記のとおりです。

- 労働者保護ルール改正に関する意見書



意見書提出

# 議案と審議結果一覧

議案番号	件名 ※件名は一部省略しています	議決結果	政友クラブ										豪政会		リベラル成田		公明党		清政会		共産党		市工									
			神崎勝	伊橋利保	雨宮真吾	湯浅雅明	小澤孝一	秋山忍	荒木博	神崎利一	村嶋照等	石渡孝春	宇都宮高明	海保貞夫	飯島照明	小山昭	上田信博	青野勝行	伊藤昌一	海保茂喜	伊藤竹夫	油田清	一山貴志	水上幸彦	大倉富重雄	福島浩一	佐久間一彦	平良清忠	鶴澤治	馬込勝未	足立満智子	會津素子
◆ 議案																																
1	教育委員会委員の任命（佐藤 勲）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2	人権擁護委員の推薦（宮野 精一）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
3	人権擁護委員の推薦（小川 美喜子）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
4	次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
5	中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
6	成田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
7	成田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
8	成田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	成田市集会施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	成田市さくらの山の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11	成田市スポーツ広場の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	成田市いすみ清掃工場解体撤去工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	京成成田駅東口バリアフリー化工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
14	成田市立公津の杜小学校学校給食共同調理場及び児童ホーム増築工事（建築工事）請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	成田市立公津の杜小学校学校給食共同調理場及び児童ホーム増築工事（機械設備工事）請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
16	（仮称）さくらの山観光物産館建設工事（建築）請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	成田市立吾妻小学校西棟大規模改造工事（建築工事）請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
18	市有財産の取得（いすみ聖地公園拡張整備事業用地）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	市有財産の取得（厨房機器）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	千葉市ほか10市1町8一部事務組合消防指令事務協議会規約の一部を改正する規約の制定に関する協議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	





# 特別委員会

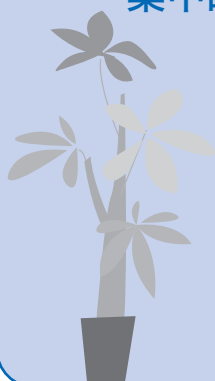
委員会で報告された内容の一部を要約して紹介します。



## 決算特別委員会を設置



平成25年度の決算関係9議案を審査する決算特別委員会が、9月定例会において設置されました。決算特別委員会は閉会中に開催され、集中的に審査を行います。



委員長	荒木	博		
副委員長	水上	幸彦		
委員	會津	素子	飯島	照明
	神崎	勝	福島	浩一
	伊橋	利保	油田	清



## 空港対策 特別委員会

### ●首都圏空港機能強化の具体化に向けた協議会

国土交通省において、首都圏空港機能強化の具体化に向けた協議会が設置され、8月26日に開催された第1回目の協議会において、小泉市長が成田空港圏自治体連絡協議会の会長として、成田空港の現状と課題について発言を行ったとのことでした。

今後は、関係自治体と個別に議論を深め、進捗に応じて節目節目で協議会を開催したいとの説明があったとのことでした。

### ●平成26年度北側脚下げ実態調査の結果

平成26年6月と7月に脚下げ状況の実態調査を行った結果、平均95%という遵守率であったが、平成25年より若干下がっているため、100%に近づくよう航空会社に対しての指導を今後も強めていきたいとのことでした。

また、本報告以来、空港北側での落下物事案は発生していないことから、一定程度効果が見込まれると期待しており、当面、北側脚下げを継続していきたいとのことでした。

**[主な質疑]** 問 遵守率が昨年より下がった要因は。

答 南側との比較で、北側のほうが若干旋回が急で、機体の安定を保ちにくいという問題があり、突風など気象条件等の影響により、守れなかった事案が多かった可能性が高いと考えられる。

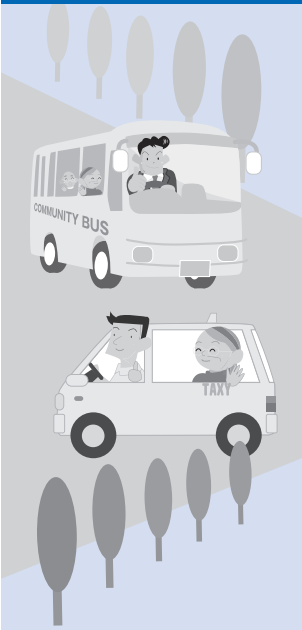
### ●防音工事済住宅の経年変化調査

工事実施後1年以内の住宅に対する遮音効果測定を平成16年度から開始し、平成25年度末までに65件の測定を実施したとのことでした。

また、測定を実施した住宅に対する再測定を平成23年度から開始し、遮音性能の経年変化について調査を実施しているとのことでした。いずれも計画遮音量を維持しているという結果であり、平成26年度以降も、住宅防音工事済住宅の経年変化調査を実施していくとのことでした。



## 交通対策 特別委員会



### ●成田市交通体系の報告

成田市で運行している交通には、コミュニティバス、スクールバスやオンデマンド交通<sup>注5</sup>などがあるため、庁内で各交通主管課による成田市交通体系検討委員会を開催し、運行内容等を協議しているとのことであり、これらの交通体系の現況について説明がありました。

また、成田市で運行する交通機関の多くは、高齢者対策や児童生徒の登下校など、それぞれの目的に応じた運行内容の充実を図ってきたが、市内全体の交通体系を総合的に考え、さらに利便性を向上させるためには、これらを複合的に活用していくことが課題となっているとのことでした。

[主な質疑] 問 交通体系検討委員会の目的は。

答 成田市内における公共交通機関について、成田市が運行するものだけでも様々なものがあることから、各交通機関の資料を収集し、運行方法等を協議しており、具体的には、経費削減のためコミュニティバスとスクールバスの共用ができないかや、交通の空白地帯がどこにあるかなどである。

### ●成田市オンデマンド交通実証実験

平成26年7月末現在の利用登録者数は、3月末から263名が新たに登録されて、2,595名となり、また、乗降場については、809カ所となっているとのことでした。

また、1日の平均利用件数は微増であるが伸びている状況で、行き先については、成田赤十字病院、成田病院が上位となっているほか、整形外科系の個人病院や、イオン、イトーヨーカドーなどのスーパーへの移動も多くなっているとのことでした。

注5 家から歩いていける範囲に乗降場を設けた乗合型のタクシー運行。

## 健康づくり 特別委員会



### ●成田市<sup>こうくう</sup>歯と口腔の健康づくり計画

平成26年3月に制定した成田市歯と口腔の健康づくり推進条例に基づき、市民が、みずから歯と口腔の健康づくりに取り組むとともに、成田市、歯科医師等を初めとする全ての関係者がそれぞれの役割において、歯と口腔の健康づくりを推進し、市民の健康の保持・増進および健康寿命の延伸に寄与することを目的として策定するものであるとのことでした。

主な内容としては、計画の概要、成田市の歯科保健の現状と課題、計画の基本的な考え方、施策の方向性と事業、計画の推進に向けてであり、計画期間は、平成27年度から31年度までの5年間とし、社会情勢や市民の歯と口腔の健康に関する状況の変化等が生じた場合は、必要な見直しを行うとのことでした。

今後のスケジュールとしては、9月後半からパブリックコメントを実施した後、計画の策定に当たっていくとのことでした。

[主な質疑] 問 虫歯のある子どもの状況を地区別に見ると、下総、大栄が突出して多いような印象を受けるが要因は。

答 虫歯の多い地区の特徴としては、複合世帯が多いことが挙げられる。また、幼児健診の問診票から甘味類を含めた好ましくない間食習慣が虫歯の原因になっているということが出ている。複合世帯ゆえの飲食回数の増加などが影響しているものと考えている。



## 議会改革 特別委員会



### ●議会基本条例の制定

議会基本条例の制定に向けて、3つの作業部会および正副委員長から提案のあった条例の案文について検討を行いました。

A作業部会からは、総則、議会の運営及び議員活動の原則、会派、委員会活動、議会図書室の利用、議員定数についての報告がありました。

B作業部会からは、市民と議会の関係から、説明責任、市民参加、議会報告会、広報広聴活動について、議会予算、議会事務局の体制整備、議員研修の充実、専門的知見の活用、議員報酬についての報告がありました。

C作業部会からは、議会と市長との関係から、**反問権**<sup>注6</sup>、議決事件の拡大について、議員間の自由討議、政務活動費、政治倫理について報告がありました。

正副委員長からは前文、最高規範性と条例の検証及び見直し、議会改革の継続についての報告がありました。

議員定数、報酬については、改正する際には参考人制度および公聴会制度を活用することで市民の意向を把握し、成田市の実情に合った形で検討することとしました。

反問権については、表現および内容等について、再度議員の動向を把握した後整理していくこととしました。

自由討議については、議員みずからも積極的な政策提言や条例提案等に努めることとしました。

政治倫理については、条例の規定の中に盛り込むこととしました。

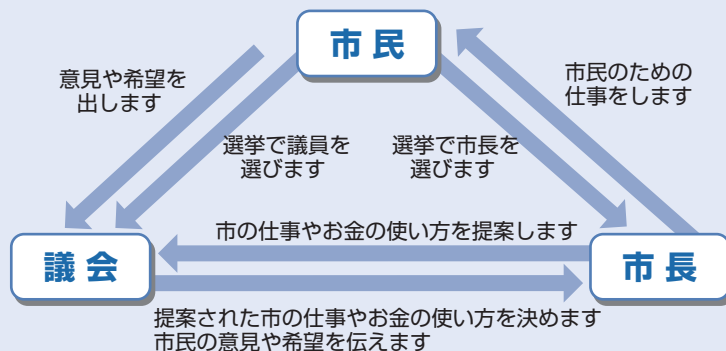
議会改革の継続については、議会改革検討会議の設置とその位置付けについて引き続き検討することとしました。

注6 市長等が、議員の質問に対して論点・争点を明確にするため、議員に質問（反問）すること。

## 早議会 はやわかり



### 市民・市長・市議会の関係



### 市議会の役割は

市議会では、条例（様々な事業を市が進める上でのきまり事）や、予算（市が仕事をするためのお金の使い方）を決めたり、正しく使われたかどうか（決算）を調べます。また、市の仕事が、正しく行われているか調べたり、国などに意見書を提出したり、市の重要な役目を担う人を市長が決めるときに意見を出したりします。

よりよいまちづくりが行われるように、市民に代わって考え、決めていくために議会があります。

# 一般質問

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

## 1. 団地群の居住状況と今後の住宅政策



雨宮真吾 議員



▲成田ニュータウンの団地群

**問** 高度経済成長期に開発された団地群、住宅街の高齢化の進展により都市の限界団地<sup>注7</sup>の現状が問題となっている。成田ニュータウンも造成から今年で45年を迎え、残されているのは、高齢者だけの世帯という状況が目立つようになっているが、ニュータウンを中心に整備されている市営住宅・UR<sup>注8</sup>・千葉県住宅供給公社住宅の居住状況と高齢化率、今後の団地展開について、建て替えを含めた住宅政策の考えを伺う。

**答** 市営住宅の居住状況は、270世帯535人で高齢化率は約33%、URは約2,500世帯が入居し、高齢化

率は全国平均で約22%、公社住宅は396世帯が入居し、高齢者のいる世帯の割合で16%と伺っている。市営住宅の今後の政策は、現在実施している長寿命化計画見直しの中で建て替えや民間賃貸住宅の借り上げなどについて検討したい。またURは建て替えを行わず引き続き既存ストックの活用を図るとされており、公社住宅も具体的な建て替え計画は策定していないとのことである。ニュータウン地区は計画的な都市基盤が整備されているため、その優れた居住環境を維持・保全し、子育て世代や高齢者世代等が暮らしを継続できる仕組みづくりの展開が必要と考える。

<sup>注7</sup> 過疎化や少子化などの要因により住民の半数以上を高齢者が占める住宅団地。

<sup>注8</sup> 独立行政法人都市再生機構。

## 2. 小泉市政2期目の成果と今後の課題



石渡孝春 議員



▲成田市役所

**問** 小泉市長の任期も残り5カ月を切り、2期目の総括もしなければならない時期になってきた。そこで、将来に向けてのまちづくり、地域活性化に向けてのまちづくりの視点から、これまでの成果について伺う。また、人口減少社会の進展など、新たな社会問題も顕在化する中で、今後優先的に取り組むべき課題と目指すまちづくりについて市長の考えを伺う。そして、3期目に向けての市長の意欲について伺う。

**答** 2期目の成果の主なものは、JR成田駅東口再開発事業の推進、新清掃工場の完成、大学誘致の

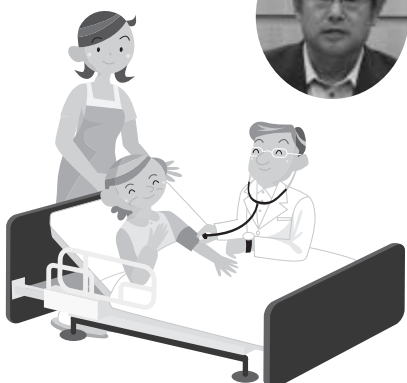
実現である。また、今後は少子高齢化の進展や空港問題等の課題解決に取り組んでいくとともに、スポーツツーリズムの推進や国家戦略特区の指定による新たな都市構想の実現を目指していく。3期目への意欲は、2期目で築いた成果を礎に、三度市政を担わせていただき、日本一住みたいまち成田、住んでみたいまち成田の実現を目指していく所存である。

### その他の質問

- ◆新葉石門前線（電車道）の整備とトンネルの強度は
- ◆「いのちを大切にす教育」への取り組みは

## 3. ますます必要とされる在宅医療の現状と今後

伊藤竹夫 議員



**問** 在宅医療は、居宅を中心として患者を全面的に引き受けて展開する実質的な高度包括医療体制であり、外来通院治療、入院治療に次ぐ新しい第3の医療ともいわれる。しかし、圧倒的な情報不足により積極的に在宅医療を目指す開業医の数も少なく、きちんとした体制が整っていない。成田市は在宅医療の重要性、さらに在宅医療と地域包括ケアシステム<sup>注9</sup>との関係をどのように考えているか伺う。

**答** 在宅医療の重要性は極めて高いと認識しており、平成26年度から健康増進課、高齢者福祉課、介

護保険課の3課で在宅医療・介護連携ワーキングチームを発足させ、在宅医療の現状と課題の整理に取り組んでいる。また、成田市医師団も平成26年度から在宅医療ネットワーク運営委員会を立ち上げ、成田市地域医療包括ネットワークと呼ばれる医療と介護の情報共有システムの運用に至っているため、今後も成田市医師団と連携を図っていく。また、在宅医療は地域包括ケアシステムの中核をなし、介護と医療の連携なくして地域包括ケアシステムの充実はないと認識しているため、より一層の連携強化を図っていく。

<sup>注9</sup> 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制。

## 4. 市街化調整区域の人口

神崎 勝 議員



▲市街化調整区域の現状

**問** 成田空港騒音対策協議会の会議で、市街化調整区域の見直しや緩和策をどのように考えているのかとの質疑や、このままの市街化調整区域が続くと、騒音下の集落等は家も建てられず高齢化や過疎化が進み、人がいなくなってしまうとの意見があった。今後、進行する人口の減少や高齢化により、集落の衰退が懸念されていることについて成田市の考えを伺う。

**答** 市街化調整区域については、現況調査や土地利用に関する住民アンケート調査により、人口の減少や高齢化の進行による地域コミュ

ニティ維持への不安があることを認識している。そこで成田市では、市街化調整区域における土地利用方針を定め、成田市の基本方針に適合した空港や駅の機能を活用したものや農地などの地域資源を生かしたもので成田市に必要な開発行為等については、地区計画を定めることで認めることとしている。

### その他の質問

- ◆待機児童の現状と対策
- ◆成田市営住宅の現状と取り組み
- ◆農業機械の補助

## 5. 公共施設等総合管理計画推進

水上幸彦 議員



**問** 平成25年6月に閣議決定された日本再興戦略に基づき、平成26年4月に総務省から地方公共団体に公共施設等総合管理計画の策定要請通知があった。地方自治体では過去に建設された公共施設等がこれから大量に更新時期を迎える中、地方財政は依然として厳しい状況にあり、さらに人口減少による今後の公共施設等の利用需要の変化が予測されるため、自治体施設全体の最適化を図る必要があるとしている。そこで、国からの計画策定要請を受けて、公共施設等総合管理計画推進に関する現状の取り組み状況と今後の対応について伺う。

**答** 公共施設のうち建物に関しては、平成24年度に公共施設白書を、平成25年度に公共施設保全計画を作成して長寿命化の基本的な方針を定めた。インフラ施設に関しては、平成23年度に公園施設、平成24年度に橋梁および下水道施設の長寿命化計画を策定した。今後は、計画策定に必要な情報の収集などを行いながら検討を進めていきたい。

### その他の質問

- ◆地籍調査の取り組み状況
- ◆国家戦略特区地域指定後の状況と市の計画
- ◆公的納骨堂設置の考え方

## 6. 薬物乱用防止対策

村嶋照等 議員



**問** 危険ドラッグ<sup>注10</sup>使用による事件・事故は、5年間で15倍近くに増え、警察へのドラッグに関する通報も急増している。指定薬物は、約1,400種類もあり、東京都では、ドラッグ店への立ち入り調査を実施したり、サイバー薬事監視担当官を新設するなど他に先駆けて摘発強化に取り組んでいる。このような状況を受けて、成田市として危険ドラッグ等の薬物乱用防止に向け、どのように取り組んでいるか伺う。

**答** 成田市における薬物乱用防止の取り組みとして、啓発のために千葉県が作成したリーフレットを

区長回覧し、また、千葉県不正大麻・けし撲滅運動に合わせ庁舎等にポスターを掲示した。千葉県では、薬物乱用防止の啓発および指導活動のため、民生委員、保護司などに千葉県薬物乱用防止指導員を委嘱し、成田市からも13名が委嘱を受けて薬物乱用防止対策の推進を図っている。市では、薬物乱用により生じる心身の被害などを認識することが重要だと考えているため、今後も千葉県や千葉県薬物乱用防止指導員などと連携、協力していく。

### その他の質問

- ◆台風シーズンへの防災対策

注10 麻薬や覚醒剤等と同等以上の有害性が疑われる物質。





## 7. 災害復旧工事の入札



神崎利一 議員



▲シートで覆われた集中豪雨による崖崩れ現場

**問** 平成25年10月26日未明に起きた豪雨では多くの被害が発生し、入札不調による復旧工事の遅れが生じた。入札情報を何度も確認し、災害発生から6カ月以上経った5月16日に落札業者の決定をホームページで確認した。競争や公正性の確保はわかるが、なぜ復旧工事を早く行わないのか。雨が降るたびに2次災害が発生しなければよいと思っていた。1者が金額を入れて数者は辞退したとのことで、一般的には競争の原理は働いていると思うが、特に緊急を要する場合は、マニュアルどおりよりも市民のために一瞬の判断をすべきではないかと思うが、見解は。

**答** 平成25年10月の被害に係る災害復旧工事について、指名競争入札を行った。指名競争入札は、競争性や公正性の確保のため、1者のみの応札の場合には不調としているが、今後、災害等の緊急を要する場合については、市民の安心・安全を第一に、より早期の着工が可能となるよう入札環境を整備する中で検討していきたい。

### その他の質問

- ◆国家戦略特区の進捗状況と今後
- ◆学校跡地の福祉関係への活用
- ◆(仮称)さくらの山観光物産館の進捗状況と今後

## 8. 成田市を考える高齢者福祉

青野勝行 議員



**問** 介護や福祉の現場では、かねてより人材不足が問題となっており、人員確保は重要な課題である。成田市では住み慣れた地域で介護を受けながら生活を継続する地域福祉の推進を進めており、第5期成田市介護保険事業計画にも記されている。しかし、事業計画では、平成24年から平成26年の期間で、夜間対応型訪問介護、定期巡回、随時対応型訪問介護看護、複合型サービスの整備を見込んでいない。平成18年度以降、地域密着型サービスの整備、計画、事業所の指定、監督等は市町村が管理することになっているが、成田市の考えを伺う。

**答** 夜間対応型訪問介護は、第5期成田市介護保険事業計画策定の時点で成田市内に事業所が開設しており、対応が十分可能と見込まれたため新たな整備を計画しなかった。定期巡回・随時対応型訪問介護看護や複合型サービスは、採算性が悪く、利用者の確保が見込めなければ事業者の参入は難しい。現在策定中の第6期成田市介護保険事業計画でも利用者ニーズの把握と事業者動向の注視等、実情に合った介護サービス確保と高齢者福祉の推進に努めていく。

### その他の質問

- ◆空港問題

## 9. 加良部地区内の小学校校区のあり方

油田 清 議員



**問** 新山小学校と加良部小学校では、児童数で3倍以上、クラス数においても2.5倍以上の開きがある。成田市は12学級から18学級を適正規模と考えるとしているが、新山小学校は9学級で12学級に及ばず、加良部小学校は23学級で18学級を大きく超えている。加良部地区には約600人の児童がおり、約200人が新山小学校に、約400人が加良部小学校に通学している。学区の見直しが可能ならば、新山小学校のクラスは複数となるが、改善についての考えは。また、地元PTAなどと話し合う必要があると思うがいかがか。

**答** 加良部小学校の児童数は増加傾向にあり、新山小学校は当初の予測よりも減少し、1年生から3年生までがそれぞれ1学級になっている。児童数の差が大きいことは、学校適正配置上における課題と捉えている。学区の変更は、友人関係や兄弟姉妹の関係等、児童の心情に配慮することが大切であり、慎重に進めなければならないため、今後の児童数の推移を見守りながら、学区審議会等に意見を求め、検討していく。

### その他の質問

- ◆放置自転車対策
- ◆今後の学校プールのあり方

## 10. 農地中間管理機構の運用

福島浩一 議員



**問** 千葉県は、次世代の農業を支える多角的な経営者の育成により、新規就農者を現状の年間316人から450人にすることを目標としている。その実現に向け、農地所有者と農業経営者との間に農地中間管理機構を設けて、公益社団法人千葉県園芸協会を指定した。併せて千葉県園芸協会は、千葉県内全市町村に農地中間管理業務の一部委託の協力依頼を行ったとのことである。しかし、農地中間管理業務について、半数を超える市町村が千葉県園芸協会からの委託を受けていないとのことだが、その理由を伺う。

**答** 公益社団法人千葉県園芸協会によると、農地中間管理事業が平成26年度からの新規事業であり、委託される業務量に対する不透明感や、不満感があるとのことであった。また、委託を受けない、もしくは受託を保留しているのは32市町村で、その理由は、事業量が見込めない中で、委託費を受けるための予算計上について、財政部局へ説明するのは困難などとして、平成26年度は業務委託契約を締結せず、業務のみを行うとした意見が多く聞かれた。成田市としては、農業センターを初め、農業委員会などの関係機関と連携し、事業の推進に努めていく。

## 11. 職員の国際ボランティア現職派遣制度の活用を

會津素子 議員



**問** 成田市には、職員の自己啓発等のための休業制度が設けられている。これは職員の能力開発を促進する観点から、大学等における課程の履修や協力隊のような国際ボランティア活動のために休業することを認める制度である。成田市ではこの制度が持つ意義をどう捉えているか。また、職員に対して積極的にこの制度の周知を図り、多くの職員を送り出してもらいたいと思うが、市の考えは。

性を生かした幅広い能力開発や国際協力の機会を提供するための柔軟な仕組みとして設けた制度である。また、これまで当該制度の利用はないが、国際貢献活動は職員の国際的な視野を広め、現地での住民福祉の向上を目指した自主的な活動が職員の公務能力の向上に資するものと考えられる。また、休業期間中についても職員としての身分は保証されているため、より多くの職員が活用できるよう、制度の周知を図っていきたい。

**答** 自己啓発等休業制度は、公務を取り巻く社会環境の変化に対応できるよう、職員に自発性や自主

### その他の質問

- ◆経済成長の限界への見解
- ◆空き家バンク<sup>注11</sup>の開設

注11 空き家の売却や賃貸を希望する所有者からの申込みにより登録された情報を、空き家利用を希望する人に提供する制度。

## 12. 文化会館中庭に埋設された廃棄物撤去の安全管理

鵜澤 治 議員



▲成田国際文化会館

**問** 成田国際文化会館中庭工事中に地下で発見された廃棄物の処理は、設計変更後中途打ち切りとなった。提出された中庭改修工事監理報告書では、廃棄物の全面撤去が無理であったこと、工区外の地盤沈下が中庭全体に及んでいると考えられるため車両等は進入禁止とすべきとされている。一方、(仮称)さくらの山観光物産館の工事では、発覚した廃棄物をすべて手続に従い適切に処理している。安全性が危惧される成田国際文化会館中庭の安全管理を求める。

修について、中庭からコンクリートガラなど地中の障害物が発見されたためこれらを撤去した。また、タイル舗装の下に一部空洞があることが確認されたことから、工事の範囲内において地盤改良を行うなど適切な処置を行ったところである。今回施工した範囲外については、調査方法も含めて、現在検討を行っている。

### その他の質問

- ◆家具の転倒防止の助成制度を
- ◆安倍農政推進で農業に展望は
- ◆第3滑走路の騒音被害対策

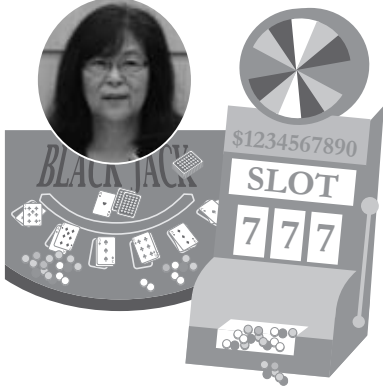
**答** 成田国際文化会館中庭改





### 13. ギャンブル依存症とカジノ誘致

足立満智子 議員



**問** 厚生労働省は、ギャンブルの衝動を抑えられない依存症の成人が536万人、IT依存症<sup>注12</sup>の成人が421万人、治療が必要なアルコール依存症の成人が109万人であるとの調査結果を発表した。成田市では経済団体等がカジノ・IR<sup>注13</sup>誘致の活動を行っているが、日本人のギャンブル依存症の深刻な実態が明らかになった今、依存症対策をしなければならないようなカジノが成田のまちづくりに必要か、市長の見解を伺う。

**答** 平成24年に地元経済界を中心にIR誘致推進協議会が設立

注12 インターネット依存症。

注13 カジノ施設、会議場施設、宿泊施設等が一体となっている複合的な施設。

され、誘致に向けた取り組みが積極的に行われている。IR誘致推進協議会からは、成田市に対して過去2度にわたる誘致可能性調査の早急な実施等を求める要望書が提出されている。IRに関しては経済効果、雇用効果が期待できると考えるが、カジノについては治安の悪化や青少年への悪影響を危惧する意見もあることから、国会での議論、また市民や議員の考えを十分に聞いて判断する必要があると考えている。

その他の質問

- ◆子どもの依存症の現状と対策
- ◆依存症に対する成田市の取り組み

### 14. 交通対策から交通政策へ

大倉富重雄 議員



▲地域公共交通の核となるJR成田駅西口

**問** 平成26年は、交通まちづくり元年と言われ、高齢化、人口減少時代の交通事業の再構築に向けての取り組みが進められている。平成25年12月の交通政策基本法から地域公共交通活性化再生法等の改正が行われ、地域で顔が見えるよう自治体に音頭を取ってほしいとのメッセージが込められているようである。地域公共交通を取り巻く社会の変化は、人口減少と交通空白地域等の問題が挙げられており、旭川市や山口市では新たな公共交通政策の取り組みを開始している。こうした現状を踏まえ、先進市が進めている市民交通計画を策定する考えはないか伺う。

**答** 成田市における地域公共交通を取り巻く環境は著しく変化しており、今後、高齢化が進む中、市民が将来に不安を感じることなく安心して住み続けられるようにするためには、誰もが利用しやすい公共交通による移動手段の確立を図る必要があると考えている。このことから、市民交通計画の策定については、課題解決を含め研究していく。

その他の質問

- ◆生活困窮者自立支援法の周知を
- ◆学校図書館拡充と司書の充実を
- ◆空き家適正管理条例の早期制定

### 15. 成田市内の小中学校にミストシャワーの設置を

一山貴志 議員



**問** 最近、千葉県内でも熱中症対策の一貫としてミストシャワー<sup>注14</sup>を設置している学校が増えている。ミストシャワーは、水道水を霧状に噴射し、その気化熱によって周囲の温度を2、3度下げるといった効果があり、環境にやさしいエコ商品の1つである。成田市内の各小中学校のグラウンドは、体育の授業や運動会、部活動のほか、土日には少年野球チームやサッカーチームが練習や試合などで多く利用している。ミストシャワーを小中学校に設置することは、子どもたちの暑さ対策や熱中症対策につながるため、導入してはと考えるがいかがか。

**答** 成田市では全小中学校にエアコンが設置されており、夏季の熱中症対策として大変重要な役割を果たしていると考えている。また、屋外活動についても、適度な水分補給や休憩を取るなど徹底した指導を行っている。しかし、夏休みの部活動など屋外での活動時間が長くなる場合もあることから、ミストシャワーを導入している学校の状況も調査し、熱中症対策の1つとして有効な活用が図れるか検討したい。

その他の質問

- ◆代読、代筆支援の充実
- ◆子育て支援サービスの充実

注14 水道水を微細な霧状にして噴射し、その気化熱で周囲の気温を下げるもの。



## 16. 付属病院は富裕層を対象にしているのではないか

馬込勝末 議員



**問** 国際医療福祉大学と成田市は、国家戦略特区のヒアリングで、付属病院について、「バンコク病院では世界各国の患者に対応できアラブの王族の随行が泊まる部屋などがある。これに対抗できる病院を実現したい」と語っている。富裕層対象の病院ではないのか。医学部と付属病院の建設費は433億円程度と思うが、大学の預貯金で成田に使えるのは数十億円の範囲ではないか。大学は、成田市と大学で数百億円の予算措置は可能、地方自治体がある程度関与して運営に責任を持つと述べている。成田市は幾ら負担するのか。また、運営費も負担するのか問う。

**答** 国際医療福祉大学はプレゼンで、三田病院や山王病院という特徴的な病院について述べたのであり、栃木や熱海、九州では地域医療に貢献する病院を経営しており、富裕層に特化された付属病院ができるとは考えていない。構想に係る財政負担については、現在は積算できない。また、運営について成田市が支援をすることは一切考えていない。

### その他の質問

- ◆保険適用を受けない医療の拡大
- ◆待機児童対策の基本は認可保育所で
- ◆幼稚園・保育園保育料負担軽減

## 17. 消防団の活動資金・報酬・出動手当は十分か

荒木 博 議員



**問** 消防団は、消火活動のみならず地震・風水害等の大規模災害時の救助救出活動や住民への巡回広報、各自治会等の自主防災など地域に密着した活動を展開し、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしている。消防団員は、非常勤特別職地方公務員として、各自治体より報酬および出動手当が支給されるが、成田市では平成9年から同じ額となっている。災害出動のほかに多くの出動要請を受けて活動中、支給される団員報酬、出動手当、地区運営費補助金だけで十分と考えるのか、市の見解を伺う。

**答** 消防団員には報酬や災害などの出動に応じた手当を条例などに基づいて支給しており、その額については、千葉県内各市町の支給額を参考に定めている。今後、これらの手当てについて、千葉県内各市町の動向を注視しながら、活動実態に応じた検討も必要と考えている。

### その他の質問

- ◆成田市を活性化する「展示会都市の実現」
- ◆中古軽自動車・小型二輪車の商品車の課税免除
- ◆24時間営業のコンビニへAED

注15の設置

注15 自動体外式除細動器。心室細動を起こした人に電気ショックを与えることで、正常なリズムに戻すための医療機器。

## 18. 公共施設の使用料等のあり方

飯島照明 議員



▲様々なスポーツに使用される中台運動公園球技場

**問** 成田市では公共施設の使用料等を安くし、市民の利用を促進している。各種の活動が活発に行われる反面、料金が安いと市外利用者が多くなり、市民が特に優遇されているわけでもないため、市内利用者が使いにくくなっている現状がある。また、公民館やスポーツ施設では、従来の成田市と大栄地区および下総地区の施設で使用料や減免等の運用が統一されていない。成田市内の料金の統一や近隣市町村とのバランスを考慮しているのか問う。

いないのは、大栄地区および下総地区では合併前の使用料金を引き継いでいるためであり、今後見直しを計画している。近隣市町村とのバランスについては、公民館は同程度であるが、スポーツ施設については、市民以外の使用料金等は施設により1.5倍から5倍までの範囲で設定しているが、近隣他市と比較しても低い料金となっている。今後は、使用料金等の見直しの際に、適正な料金設定となるよう検討していきたい。

### その他の質問

- ◆熱中症対策
- ◆屋外スポーツ施設の雨天時の利用

**答** 公民館、スポーツ施設とも成田市内での使用料が統一されて

# 「議会基本条例」についての 意見交換会のご案内

10月13日に開催を予定していた意見交換会は、台風19号接近のため延期させていただきました。改めて議会基本条例制定に向けて、市民の皆さんと議員との意見交換会を下記のとおり開催いたしますので、ぜひご参加ください。

○日時：平成26年11月5日(水)

午後7時～9時

(午後6時30分受付開始)

○会場：市役所議会棟3階 第1委員会室

※意見交換会への参加を希望する方は当日直接会場へお越しください。



## 中学生議会を開催

8月20日に中学生議会が開催されました。中学生に市議会について体験的に学んでもらい、市政への関心を深めてもらうため開かれるものです。市内中学校11校から代表24名が出席し、模擬議長選挙の実施や市政について中学生の視点で様々な質問や意見が出されました。



## 12月定例会は、 11月21日(金)開会予定です。

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、市議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760

TEL 0476(20)1570(直通)

FAX 0476(24)0336

成田市議会

検索



## 議員研修会を開催

成田市議会議員団では、議員の資質向上、議員活動の向上を目指し、研修会を行っています。

8月22日には、「議会の改革と政務活動費」をテーマに、元全国都道府県議会議長会議事調査部長の野村 稔氏を迎えて開催しました。



## コーヒータイム



成田市は、財政力指数では日本有数を誇り、千葉県内で唯一2030年までに人口減少がないと予想されています。1人あたりの国民健康保険税は千葉県内で最も安く、医師・看護師不足が叫ばれるなか、成田赤十字病院を初め医療機関も比較的多くあります。今回東京圏の一部として地域指定された国家戦略特区では医学部や大学病院も出来る可能性があるなか、驚くべきデータがありました。成田市の3歳児は、佐倉市の2倍も虫歯が多く県平均も上回っています。市内では一部郊外で、ニュータウン地区の2倍以上虫歯の子どもの多い地区があります。大病院も必要ですが、それ以前に予防など、自分たちで出来ることをすることが大事だと思います。

市議会だより編集委員 伊藤 昌一

「成田市議会だより」は、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙を使用しています。

リサイクル適正(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

PRINTED WITH  
SOYINK™  
環境に優しい大豆インクを使用しています。